



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月29日

上場取引所 東 名

上場会社名 パナソニック デバイスSUNX株式会社
 コード番号 6860 URL <http://panasonic.net/id/pidsx/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 荒谷 悦司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理担当 (氏名) 齊藤 隆夫

TEL 0568-33-7211

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	27,801	△7.7	2,140	△12.8	2,179	△8.9	1,445	31.8
24年3月期第3四半期	30,133	45.4	2,456	38.5	2,392	40.5	1,096	26.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,647百万円 (58.7%) 24年3月期第3四半期 1,038百万円 (46.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	25.69	—
24年3月期第3四半期	19.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	34,857	27,600	78.7	487.65
24年3月期	34,637	26,518	76.2	468.78

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 27,442百万円 24年3月期 26,381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	6.8	3,500	10.1	3,400	7.0	2,200	38.4	39.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	56,457,898 株	24年3月期	56,457,898 株
25年3月期3Q	183,159 株	24年3月期	182,079 株
25年3月期3Q	56,275,434 株	24年3月期3Q	56,276,956 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月～12月）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により緩やかな回復基調がみられたものの、欧州金融危機を背景とした海外経済の減速や中国をはじめとする新興国の成長鈍化等、景気の先行きに対する不透明感が払拭できない状況の中で推移いたしました。

当制御機器業界におきましても、海外経済の減速を受け、全体の需要は減少いたしました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間における業績は、第1四半期連結会計期間でスマートフォン関連や自動車関連向けに拡大するとともに、中国においても地産地消の効果が開始しました。しかしながら、第2四半期連結会計期間（平成24年7月～9月）以降、国内においては、主要顧客である半導体・液晶関連、自動組立機械関連などの需要が落ち込み、さらに、好調であった中国での需要が減速いたしました。

以上の結果、売上高は27,801百万円（前年同期比7.7%減）となりました。営業利益は2,140百万円（同12.8%減）、経常利益は2,179百万円（同8.9%減）、四半期純利益は法人税制の改正による税率の引下げにより1,445百万円（同31.8%増）となりました。

セグメント別の状況

・センシングコントロール事業（FA用センサ、PLC、プログラマブル表示器など）

センシングコントロール事業においては、第1四半期連結会計期間でスマートフォン関連や自動車関連向けに販売を伸ばしましたが、第2四半期連結会計期間以降は、半導体・液晶関連の設備投資抑制の影響を受け減少いたしました。海外においても、第2四半期連結会計期間に入り中国、韓国等における半導体・液晶関連の需要が落ち込み、売上高は減少いたしました。その結果、売上高は15,891百万円（同6.0%減）となりました。

・プロセッシング機器事業（レーザマーカ、画像処理機、紫外線硬化装置など）

プロセッシング機器事業においては、第1四半期連結会計期間でスマートフォン関連や自動車関連の需要を取り込み、国内及び中国・アジアを中心に販売を伸ばしましたが、第2四半期連結会計期間以降は国内設備投資抑制の影響を受け減少いたしました。その結果、売上高は6,022百万円（同10.0%減）となりました。

・Eco・カスタム事業（エコ関連商品、タイマ、カウンタ、カスタム商品など）

Eco商品においては、震災以降の電力不足を受け、節電対策における電力の見える化需要が増加し、電力監視機器「エコパワーメータ」などエコ関連の顧客開拓が進展しました。一方、カスタム商品においては半導体関連の設備投資抑制の影響を受け、減少いたしました。その結果、売上高は5,886百万円（同10.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は34,857百万円となり前連結会計年度末に比べ220百万円の増加となりました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ409百万円増加し、23,970百万円となりました。主な内容は商品及び製品が724百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ188百万円減少し、10,887百万円となりました。主な内容は有形固定資産が76百万円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は前連結会計年度末に比べ638百万円減少し、5,120百万円となりました。主な内容は未払法人税が338百万円、賞与引当金が243百万円減少したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は前連結会計年度末に比べ224百万円減少し、2,135百万円となりました。主な内容は退職給付引当金が198百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末に比べ1,082百万円増加し、27,600百万円となりました。主な内容は四半期純利益1,445百万円及び剰余金の配当562百万円によるものです。

当第3四半期連結会計期間のキャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより8,513百万円となり、前連結会計年度末に比べ331百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,140百万円、売上債権の減少による資金の増加2,346百万円等がありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは3,169百万円となり前年同四半期に比べ2,868百万円収入が増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出658百万円、預け金の預入による支出5,000百万円、定期預金の払戻による収入3,600百万円等により2,210百万円の支出となり、前年同四半期に比べ5,613百万円支出が増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額547百万円、短期借入金の返済による支出210百万円等により758百万円の支出となり、前年同四半期に比べ271百万円支出が増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月26日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,129	5,513
受取手形及び売掛金	5,586	3,274
商品及び製品	1,353	2,077
仕掛品	606	641
原材料及び貯蔵品	2,636	3,175
預け金	653	8,000
その他	1,598	1,291
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	23,561	23,970
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,768	3,828
その他(純額)	5,971	5,835
有形固定資産合計	9,740	9,664
無形固定資産		
投資その他の資産	377	383
その他	970	848
貸倒引当金	△13	△8
投資その他の資産合計	957	839
固定資産合計	11,075	10,887
資産合計	34,637	34,857
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,528	2,656
短期借入金	647	459
未払金	747	783
未払費用	522	478
未払法人税等	422	84
賞与引当金	686	443
役員賞与引当金	12	11
その他	190	204
流動負債合計	5,758	5,120
固定負債		
退職給付引当金	2,225	2,027
その他	134	108
固定負債合計	2,359	2,135
負債合計	8,118	7,256

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,155	3,155
資本剰余金	10,534	10,534
利益剰余金	12,819	13,702
自己株式	△63	△64
株主資本合計	26,445	27,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	27
為替換算調整勘定	△97	86
その他の包括利益累計額合計	△64	114
少数株主持分	137	158
純資産合計	26,518	27,600
負債純資産合計	34,637	34,857

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	30,133	27,801
売上原価	21,990	19,413
売上総利益	8,142	8,387
販売費及び一般管理費	5,685	6,246
営業利益	2,456	2,140
営業外収益		
受取利息	30	16
受取配当金	2	2
持分法による投資利益	5	—
受取地代家賃	38	25
為替差益	—	31
その他	15	5
営業外収益合計	92	81
営業外費用		
支払利息	0	16
為替差損	139	—
不動産賃貸費用	6	5
その他	10	22
営業外費用合計	156	43
経常利益	2,392	2,179
特別利益		
固定資産売却益	16	3
関係会社株式売却益	197	—
特別利益合計	213	3
特別損失		
固定資産除却損	62	16
社名・ブランド変更費用	97	25
子会社整理損	147	—
退職給付制度変更に伴う損失	86	—
特別損失合計	393	42
税金等調整前四半期純利益	2,212	2,140
法人税、住民税及び事業税	558	491
法人税等調整額	556	190
法人税等合計	1,115	682
少数株主損益調整前四半期純利益	1,097	1,458
少数株主利益	0	12
四半期純利益	1,096	1,445
少数株主利益	0	12
少数株主損益調整前四半期純利益	1,097	1,458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△5
為替換算調整勘定	△60	194
その他の包括利益合計	△58	188
四半期包括利益	1,038	1,647
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,039	1,624
少数株主に係る四半期包括利益	△1	23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,212	2,140
減価償却費	1,018	924
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△82	△198
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△376	△242
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△54	△1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△3
受取利息及び受取配当金	△33	△18
為替差損益 (△は益)	91	△12
支払利息	0	16
持分法による投資損益 (△は益)	△5	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	45	13
関係会社株式売却損益 (△は益)	△197	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△112	2,346
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△976	△1,238
仕入債務の増減額 (△は減少)	117	95
未払金の増減額 (△は減少)	△361	36
その他	△217	121
小計	1,067	3,979
利息及び配当金の受取額	42	18
利息の支払額	△0	△16
法人税等の支払額	△808	△812
営業活動によるキャッシュ・フロー	301	3,169
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預け金の預入による支出	—	△5,000
預け金の払戻による収入	4,100	—
定期預金の払戻による収入	—	3,600
有形固定資産の取得による支出	△1,421	△658
有形固定資産の売却による収入	65	9
無形固定資産の取得による支出	△110	△161
関係会社株式の売却による収入	765	—
その他	5	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,403	△2,210
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	47	—
短期借入金の返済による支出	—	△210
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△489	△547
少数株主への配当金の支払額	△44	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△487	△758
現金及び現金同等物に係る換算差額	△144	131
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,072	331
現金及び現金同等物の期首残高	5,474	8,182
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,547	8,513

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は本社に製品別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「センシングコントロール事業」、「プロセッシング機器事業」、「E c o・カスタム事業」の3つを報告セグメントとしております。

「センシングコントロール事業」は、F A用センサ、P L C、プログラマブル表示器等を、「プロセッシング機器事業」は、レーザマーカ、画像処理機、紫外線硬化装置等を、「E c o・カスタム事業」は、エコ関連商品、タイマ、カウンタ、カスタム商品他等を生産・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

(単位：百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o・カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	16,899	6,688	6,544	30,133
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	16,899	6,688	6,544	30,133
セグメント利益	2,720	388	507	3,616

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

(単位：百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o・カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	15,891	6,022	5,886	27,801
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	15,891	6,022	5,886	27,801
セグメント利益	2,457	380	526	3,364

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	3,616	3,364
全社費用(注1)	△1,259	△1,252
調整額(注2)	98	28
連結財務諸表の営業利益	2,456	2,140

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) 調整額は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異であります。